



新庁舎建設に関する

地区別説明会を開催

町では、役場庁舎耐震化検討業務報告書や新庁舎建設基本方針（案）などの内容について、札内地区4会場で「地区別説明会」を開催しました。

今月号では、札内地区説明会で意見のあった主な内容などについてお知らせします。なお、町ホームページでも地区別説明会の詳細な内容を掲載しております。

■問い合わせ先 企画室企画情報担当 TEL【幕】54-6610

新庁舎建設基本方針 （案）を中心に説明

この説明会では、新庁舎建設基本方針（案）の概要を中心に、役場庁舎耐震化検討業務報告書の概要や新庁舎を建設した場合の実質公債費比率の推計、役場庁舎を分散設置した場合のメリット・デメリットの4点について説明しました。新庁舎建設基本方針（案）の説明として主なものは、次の3点です。

◆建築後、39年が経過している現庁舎は、耐震改修を施工しても費用に見合った使用期間の延長が見込めないことから、耐震改修を実施するのではなく新庁舎を建設することが最良である。

◆新庁舎の建設候補地として、市街地3地区（幕別・札内・忠類）の中間地点に位置することや町全体の均衡ある発展に貢献することなどから、現庁舎敷地内が適当である。

◆札内支所の行政サービスのあり方や現在、分庁舎となっている教育委員会と保健福祉センターの事務所スペースを新庁舎へ集約した場合の活用について、

今後、検討を行う。

〈10月24日 札内福祉センター〉 幕別町の財政を不安 視する声：

札内福祉センターで行われた説明会では、基本方針（案）の内容や町の財政状況などについて、次のような意見や質問がありました。

住民 現庁舎は耐力度の問題があるので新庁舎建設とのことだが、対応が遅すぎるのではないか。

町 町では、子どもたちの安全性を確保する観点から、学校の耐震補強工事を優先して実施してきた。学校の工事に一定の目処がついたため、現在、庁舎建設の検討をしているところ。

住民 説明会終了後、住民から意見を聞くような場を設けることを検討しているか。

町 今回の説明会で提案のあった様々な意見を、今後、検討したいと考えている。

住民 幕別町の財政状況下で庁舎建設は必要最小限でよい。行政サービスは「人」がやるもので「施設」ではない。防災の問題などにお金を使うべきである。



町 「施設」自体が行政サービスを行うものと考えているわけではないが、防災時の拠点として役割を果たさなければならぬ施設である。住民が立ち寄り易く、利用し易い機能を持った庁舎が必要と考えている。

住民 庁舎建設の際、合併特例債を充てるとのことだが、国難の状況下において、合併特例債に対する過度な信頼は危険と考える。町はどのように考えているのか。

町 国の財政状況により交付税が減額されることはあるが、全国ほとんどの市町村が交付税に頼っている。国としても地方を切り捨てるような大きな減額は実施しないと考えている。

住民 新庁舎の面積が基本方針(案)では、保健福祉センターと教育委員会を集約し、6000㎡となっているが過大ではないか。

町 現在の庁舎は、執務スペースが壁で仕切られている学校の教室スタイルであり、住民から入りづらいと苦情がある。壁のないオープンスペースフロアにする。と一定程度の面積が必要になる。防災対策室など現庁舎にない機能のスペースを加味し、最大値で6000㎡と示したものである。

住民 耐震性に問題がある現庁

舎なので、庁舎の建設は賛成である。経費を抑えることは大切だが、幕別町のシンボルとなるような庁舎を建設して欲しい。

住民 個人的に50人と対面し庁舎建設の話聞いたが、誰一人として基本方針(案)に賛成する者はいない。後世に借金を残すような町政はしてほしくない。

〈11月1日 札内南コミセン〉 建設費を抑えた質素な庁舎

札内南コミセンで行われた説明会では、財政状況や住民意見を求める機会などについての意見や質問がありました。

住民 幕別町には、町民会館や札内福祉センターなどの公共施設があるが、危険な状況にある現庁舎から移転し、事務所を分散活用する考えはないのか。

町 役場は、多くの機能を有する施設である。他の施設に分散設置することは、現状では難しいと考えている。

住民 基本方針(案)では同じ場所に新庁舎を建てるとのことだが、地形地質の状況から考えて納得いかない。質素でコストを抑える観点に立てば、面積3000㎡

以下で木造2階建てという工夫はないのか。

町 現在の役場庁舎は、約3820㎡で教室スタイルとなっており、住民の方々が入りづらいと感じている状況。昨今の建設事例ではオープンスペースフロアが採用され廊下も広い。また、50年以上使用することを考えれば、本庁集約型が良いと考えているので、面積3000㎡以下は困難と考える。

住民 赤字財政の中にあつて、なぜ23億円もかけ庁舎を建設するのか。また、人口の多い札内に庁舎を建てるのが妥当ではないか。

町 幕別町は赤字財政ではなく黒字で推移している。耐震診断の結果から建替えざるを得ないという思いである。役場庁舎の位置は、町全体の均衡ある発展を考え、本町地区の過疎化を食い止めるためにも、本町に建設する原案を作成した。

住民 公平対等な立場で住民から意見を吸い上げることが大切なことと感じる。

住民 住民の意思を反映できるような仕組みを実施していただきたい。

町 説明会が終了した後に十分検討させていただく。

地区別説明会

〈11月2日 札内北コミセン〉
**新しい住民サービス
 の展開を：**

札内北コミセンで行われた説明会では、札内支所の機能拡充や近隣センターなどで窓口業務を展開する新しい住民サービスのあり方について、次のような意見や質問がありました。

住民 スマイルパークに庁舎を建設した場合、交通弱者にとつて利便性が低いとあるが、どういうことか。

町 交通弱者とは、自家用車を持たない方を想定してる。スマイルパークは駅から遠く自家用車を持たない方にとつては利便性が低いとしたもの。

住民 意見を3点述べたい。①是非、新しい庁舎を建設し、町民の生命と安全を守るため、行政の立場として努力いただきたい。町全体の中で倒れそうな施設が他にもあれば、そういった施設も対応していただきたい。②場所の問題。幕別・札内・忠類それぞれの方が、近くに新庁舎を建設して欲しいと思うことは自然なこと。感情論で勝つ

た負けたとにならないよう進めてほしい。③これからは、超高齢社会で役場へ足を運ぶことが難しい時代である。コミセンや近隣センターなどで、住民票などを交付するオフィスオンラインを活用した新しい住民サービスを展開して欲しい。

住民 防災面から札内支所の機能拡充は必要なことと考えるが、町は、どのように考えているのか。

町 町では来年の4月1日をめぐに、組織機構を見直す予定。音更町木野支所の業務や配置なども参考にしながら進めていきたい。また、防災計画の見直しについても現在、検討している。

住民 新庁舎の建設は賛成するが、なぜ面積が60000㎡なのか。

町 保健福祉センターと教育委員会の事務室スペースを合わせた集約型の庁舎を前提としている。また災害時、防災対策本部として活用できるような大きな会議室なども含め、たたき台として60000㎡とした。

住民 これからの人口推移はある程度の想像ができる。それを考慮した上で、町民の意見を聞き、まとめるのが本来なのは。



〈11月4日 百年記念ホール〉

住民の意思反映を求める声

百年記念ホールで行われた説明会では、庁舎建設の位置や庁舎建設に対する住民参加の行政などについて、次のような意見や質問がありました。

住民 建設候補地として札内の人口・将来を考えた場合、スマイルパークが適地ではないか。

町 町全体を考え、幕別・札内・忠類の市街地がそれぞれ発展

新庁舎を建設した場合の 一人あたりの 借金

幕別町には、平成23年3月末で約194億5千万円（一般会計）の借金があり、町民一人あたりが抱える借金は、約70万8千円になります。（平成23年3月末時点・人口2万7461人）

基本方針（案）で想定している鉄筋コンクリート造3階建（面積60000㎡）の新庁舎を建設した場合、約23億円の費用を見込んでおりますが、合併特例債やその他の補助金を有効に利用することで、町が負担する一般財源は、約6億5千万円と試算しています。

新庁舎を建設した場合、町民一人あたりに加算される借金の額は、約2万4千円となります。（平成27年度人口を2万7500人と見込み試算）

町は、平成19年度から毎年約10億円ずつ借入金残高を減じてきており、新庁舎建設が予定される平成27年度では、約160億円になるよう計画しています。今後借入抑制や繰上償還により、将来負担の軽減に努めていきます。



することを考慮し、原案を作成した。説明会の中で多くの意見をいただいたので、検討したいと思う。

住民 若い世代の声を聞く機会を検討してはどうか。

町 意見を聞く手法のひとつとして、今後検討していく。

住民 住民投票やアンケートなど民意が反映される手続きが必要だと思うが。

町 住民投票やアンケートは住民の意思を反映するひとつの手法と考えている。議会でも検討がなされており、これらを踏まえて対応する。

住民 住民意見を反映させるため、全世帯へのアンケートの実施を約束して欲しい。

町 説明会の中で出てきた様々な意見は、今後、十分検討していく。

住民 「検討した結果、アンケートは実施しない」となれば、住民意見は反映されない。この場で約束して欲しい。

町 基本方針(案)を説明し、住民から意見をいただくことがこの説明会の目的である。アンケート実施の意見についても検討していきたいと思う。

住民 アンケートの実施をここ

で約束して欲しい。

町 これは、説明会であり物事を決める場ではない。意見については、十分検討していく。

住民 住民参加型の行政を行なっていくのならば、庁舎建設の問題を周知するためにも全世帯にアンケートを実施して欲しい。

町 仮にアンケートを実施するならば、内容等を考えなければならぬ。実施するか否かをこの場で申し上げるべきではないと考える。

住民 住民の声を可能な限り聞いていくのが、民主的な町政ではないか。なぜ検討するとしか答えられないのか。

町 住民意見を吸い上げる方法としては、アンケート以外にも様々な手法がある。全体的な意見を集約した上で、検討していく。

住民 基本的にはアンケートしか手法はないと思うが。

町 仮にアンケートを実施するとして何か内容の提案はあるか。

住民 今聞いているのは、住民の意思を問うかどうか。アンケート実施が決定してから、内容は検討すればよい。

町 では、その方向で進めさせていただく。

特別委員会における

論議

第8回の「庁舎建設に関する調査特別委員会」が11月22日に開催されました。

今回は、新役場庁舎の建設に関して町内6カ所で行われた説明会の開催結果と説明会の中で住民から提案のあった住民参加のあり方について、論議が行われました。

説明会の概要として町からは、「建設コストを抑え、住民負担を軽減する検討が必要」や「札内地区の住民サービスを拡充すべき」など、将来の財政負担を不安視する意見などがあつたと説明しました。また、住民参加のあり方について、「実施する方向性で協議しているが、内容や手法については検討中である」と説明しました。

議員から「庁舎建設が町全体を分断することが無いよう進める必要がある」や「住民意見を聞く機会が必要だが、議会が積み重ねてきた議論が後戻りすることなく住民の思いを受け止めることが大事」などと意見が出されました。